

乗鞍岳の火山活動解説資料（平成 25 年 8 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図 1）

乗鞍高原（乗鞍岳の東北東約 7 km）に設置してある遠望カメラによる観測では、今期間、噴気は認められませんでした。

・ 地震活動（図 2－①、図 3）

8 日に乗鞍岳付近を震源とする火山性地震が一時的に増加しましたが、その他の期間の地震活動は低調に経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動の状況（図 2－②③④）

GPS連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。



図 1 乗鞍岳 山頂部の状況

（8 月 12 日 乗鞍高原遠望カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 25 年 9 月分）は平成 25 年 10 月 9 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、京都大学、名古屋大学、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『2 万 5 千分 1 地形図』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

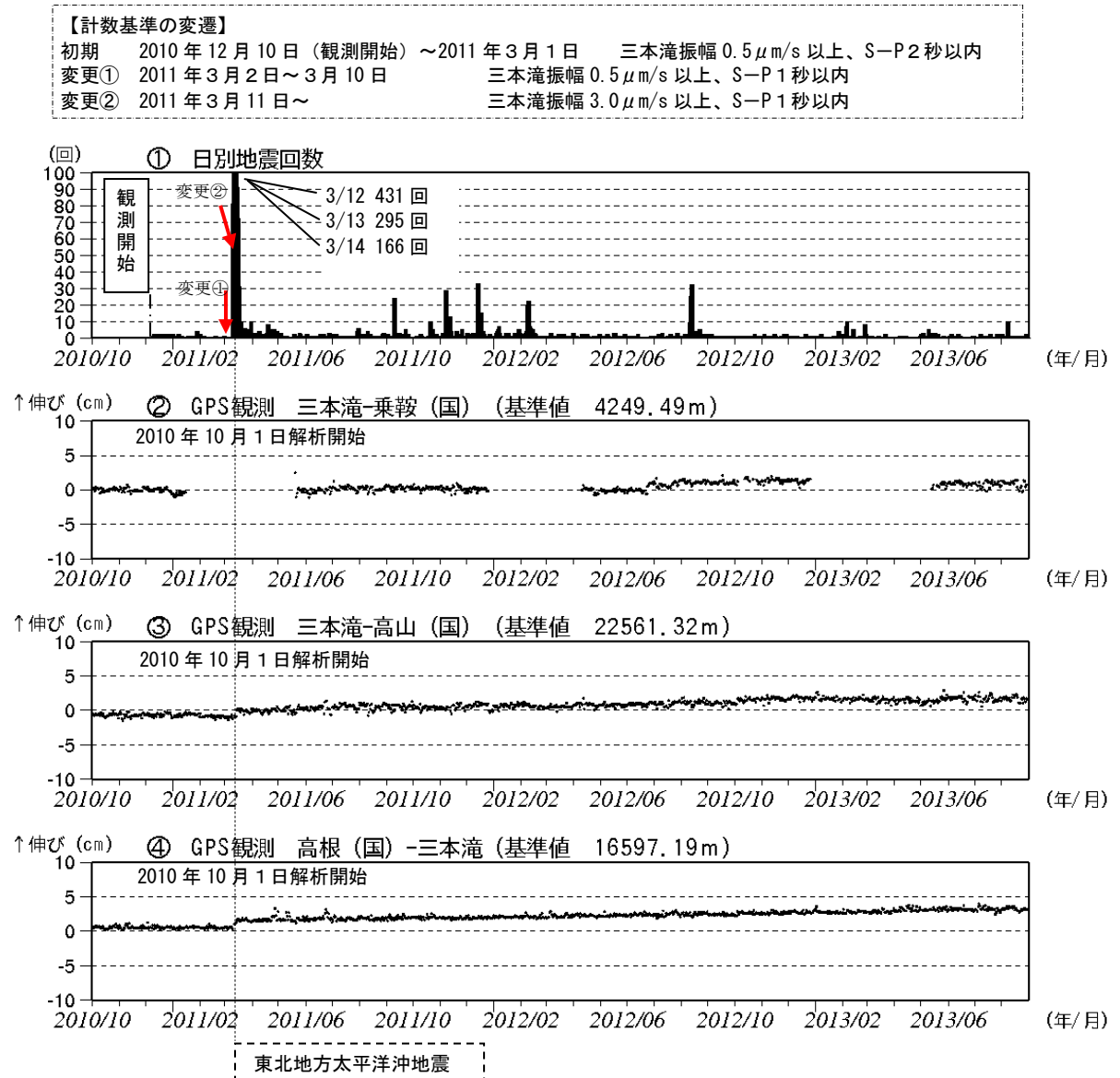


図 2 乗鞍岳 火山活動経過図

① 乗鞍岳周辺の日別地震回数（2010 年 12 月 10 日～2013 年 8 月 31 日）

②③④：GPS 連続観測による基線長変化（2010 年 10 月 1 日～2013 年 8 月 31 日）

（国）：国土地理院

③④の基線には、東北地方太平洋沖地震（2011 年 3 月 11 日）に伴うステップ状の変化がみられます。

②～④は図 4 の GPS 基線②～④に対応しています。

②グラフの空白部分は欠測を示しています。

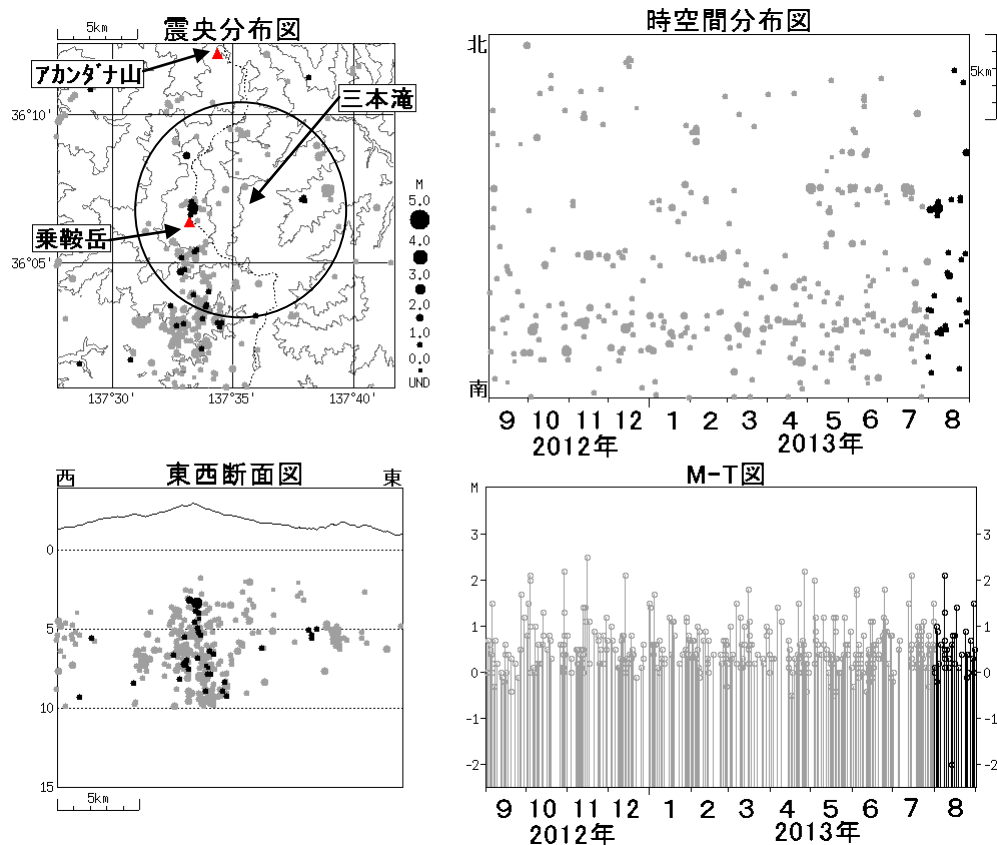


図3 乗鞍岳 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2012 年 9 月～2013 年 8 月）

●：2012 年 9 月 1 日～2013 年 7 月 31 日 ●：2013 年 8 月 1 日～8 月 31 日

震央分布図中の円は図2の計数対象地震（三本滝でS－P時間1秒以内）のおよその範囲。

M（マグニチュード）は地震の規模を表します。

図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

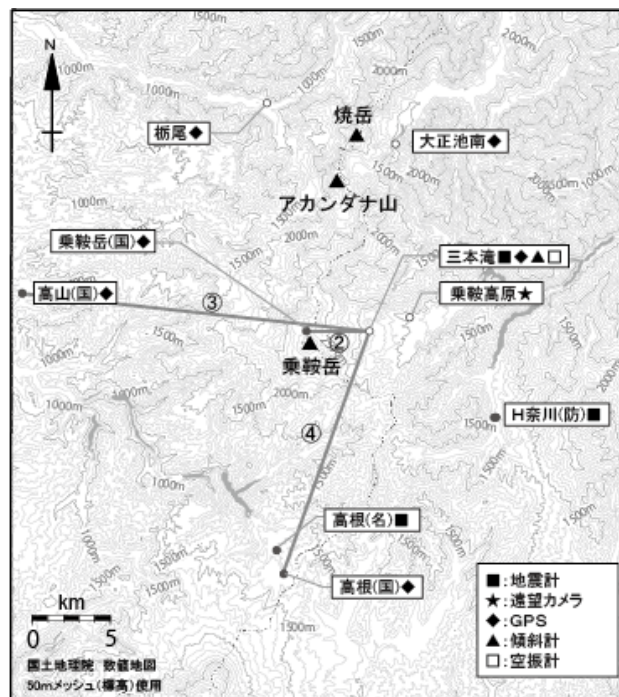


図4 乗鞍岳 観測点配置

GPS 基線②～④は図2の②～④に対応しています。